



つれづれ 徒然に



何を書こうか、と考える。何も浮かばない。テーマはないとの事。何でも良いというのは非常に困る。まず趣味のことでもと思い、今始めたばかりの陶芸、昨年まで習っていたオカリナ等々、色々と頭に浮かんで消えてゆく。書き倦^{あぐ}ねている時、ふと、私と同じ姿勢が、ぼんやりと浮かんで来た。

「つれづれなるままに、ひぐらし碗にむかいて、心にうつりゆくよしなし事を、そこはかとなく書きつくれば、あやしゅうこそものぐるほしけれ」。そうだ、これは五十年ほど前に習った兼好法師の「徒然草」の一節が、浮かんで来た。まだ覚えて

いたか。ぼけてはいない証拠か。しかし、昨夜の夕食は何であったか思い出さない。これはどういうことか私と同じように考えあぐねている人が、何百年も前にいた。世の中の儘ならぬ事に、心をめぐらしていた人がいたことに、ほっとする。

最近の国の状況から、合併問題等々、恥じらいの心を忘れた女の子権利の主張はしても義務の履行は念頭のない人、世の中一寸おかしげな事が多すぎる。しかし今の世の中だけではない。過去にも同じように、おかしなことがあったのだろう。その証拠に、何百年も前の兼好法師も同様に、思いわずらい、無聊にまかせて、我々後世の人間に随筆として示してくれたのではないか。人間の営み等、そう昔から変わるものではない。時代時代に若干の違いはあるうとも、人間の杞憂と欲望（願望）はそんなに変るものではない。先ずは私の小さな欲望を満足させる時が、そろそろ近づいて来た。晩酌に、旨い酒と肴でもあれば、云う事はないほんとに小さな欲望である。この欲望を満たすと眠くなる。それでは一寸と失礼して横になるかなア。皆さん今後とも、こんな私をよろしくねー。

満足満足。 z u r z u r z u .

次回は広島4町内の菅野君子^{すがのきみこ}さんに登場していただきます。



差別のない人権尊重の町づくり



～H I V感染者の人権～

H I V感染症は、進行性の免疫機能障がいの特徴とする疾患であり、H I V（エイズウイルス）によって引き起こされる免疫不全症候群のことをエイズ（A I D S）と呼んでいます。H I V感染症は、その感染経路が特定しているうえ、感染力もそれほど強いものではなく、正しい知識をもって通常の生活を送る限り、感染するものではありません。また、治療薬の開発等によってエイズの発症を遅らせたり、症状を緩和させたりすることが可能になってきています。

H I V感染者に対しては、誤った認識や理解不足から多くの偏見や差別事件が発生しています。

H I V感染者についての偏見や差別意識を解消するため、正しい知識を養い理解を深める必要があります。

「益城町人権教育・啓発基本計画」より

お問い合わせ先 役場健康福祉課 人権対策係 ☎286-3111 内線131